

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成17年11月4日(2005.11.4)

【公開番号】特開2000-95431(P2000-95431A)

【公開日】平成12年4月4日(2000.4.4)

【出願番号】特願平10-266166

【国際特許分類第7版】

B 6 5 H 45/28

【F I】

B 6 5 H 45/28

D

【手続補正書】

【提出日】平成17年9月15日(2005.9.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 第1くわえ胴と第2くわえ胴とを、互いに周面を対接させて配列した折機の平行折装置において、前記第1くわえ胴の一部周面にベルトを掛けまわし、該ベルトが第1くわえ胴から第2くわえ胴へくわえ替えするときに折丁先端を第1くわえ胴から第2くわえ胴へ案内する案内位置と第1くわえ胴と第2くわえ胴で折るときに第2くわえ胴から退避する退避位置とに切換可能に設けたことを特徴とする折機の平行折装置。

【請求項2】 前記ベルトは、前記案内位置において第1くわえ胴に保持された折丁先端を第2くわえ胴へ案内することを特徴とする請求項1記載の折機の平行折装置。

【請求項3】 前記ベルトは、前記案内位置において第1くわえ胴のくわえ板とくわえ顎に挟まれて保持された折丁先端を真っ直ぐにして第2くわえ胴へ案内することを特徴とする請求項1記載の折機の平行折装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

【課題を解決するための手段】

上述の目的を達成するための本発明に係る折機の平行折装置は、第1くわえ胴と第2くわえ胴とを、互いに周面を対接させて配列した折機の平行折装置において、前記第1くわえ胴の一部周面にベルトを掛けまわし、該ベルトが第1くわえ胴から第2くわえ胴へくわえ替えするときに折丁先端を第1くわえ胴から第2くわえ胴へ案内する案内位置と第1くわえ胴と第2くわえ胴で折るときに第2くわえ胴から退避する退避位置とに切換可能に設けたことを特徴とする。

また、前記ベルトは、前記案内位置において第1くわえ胴に保持された折丁先端を第2くわえ胴へ案内することを特徴とする。

また、前記ベルトは、前記案内位置において第1くわえ胴のくわえ板とくわえ顎に挟まれて保持された折丁先端を真っ直ぐにして第2くわえ胴へ案内することを特徴とする。